学校番号	３１８

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史探究乙	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「日本史探究」　（清水書院出版）						
副教材等	図説　日本史通覧　（帝国書院出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、中世～近世の日本を中心とした歴史を学習します。
教科書を用いて、基本的な歴史的用語をおさえ、歴史的事象の意義を考えていきます。また課題に対して自ら考え、深く理解する活動を行っていきます。
「課題を理解する→自分で課題について考える→課題への答えを見つける→解決の過程を振り返る」といったことを繰り返し行い、授業を通して課題解決のための能力を養います。また自分の考えを発表したりする取り組みも行います。
家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。調べ学習や動画配信等の課題を出す予定です。
授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する理解、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察, 構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	中世の日本と世界	・鎌倉幕府の滅亡 ・建武政権の崩壊 ・中世の人々の生活	a:室町幕府の展開・武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地方権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 b:社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		・戦国時代 ・信長・秀吉政権	a:政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 b:村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・ 多角的に考察し、表現する。時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取り、表現する。 c:歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する活動に主体的に取り組む。			
2	近世の日本と世界	・幕藩体制 ・近世の国際関係 ・近世の社会	a:法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係などを基に、幕藩体制の確立の特色を理解する。 b:織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義, 関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

			a:支配秩序の形成と身分制、技術の向上と開発の進展、産業の発達、学問・文化の発展を基に、近世の社会・文化の特色を理解する。 b:交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
3		・江戸時代の文化 ・享保の改革 ・田沼の政治 ・寛政の改革	a:飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 b:社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性、などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 c:諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度